

事業所名	しゅりん家				支援プログラム (参考様式)	作成日	2025 年	12 月	25 日
法人 (事業所) 理念	子どもたちにとって「第2の家」と思えるような、のびのびと安心して過ごせる居場所を目指しています。無理をせず、自分のペースで挑戦したり休んだりできる環境を整え、一人ひとりの個性が尊重される場所をつくる。								
支援方針	お子様一人一人の個性や能力を最大限に引き出す支援を大切にしています。遊びや体験から学ぶ楽しさを育むこと、成功体験を積み重ねて挑戦する喜びを感じられるようにすること、認知、感覚、言語のバランスのとれた成長をサポートすること、集中力や計画性等の将来につながる「学びの土台」を養うこと、人との関わりの中で社会性や協調性や自分の得意を見つけること、お子様が自信を持ち将来へ向かって歩みだせる力を育むことを大切に支援していきます。								
営業時間	9 時	0 分	から	18 時	0 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	子どもの発達状況に配慮しながら、身支度 (手洗い、うがい、靴の脱ぎ履き、整理整頓など) を自ら行っているように支援します。障害の特性に配慮し、意思表示のサインに気が付くように配慮します。スケジュールをわかり易く提供しながら、安心して生活ができていくように支援をします。定期的にあセスメントを行い、子どもの健康状態や通院状況等の把握を行います。							
	運動・感覚	子どもが興味を持つ療育用品を用いた遊びを通して、感覚の偏りなどの調整や環境設定を行い支援をします。手先を使った制作、筆記用具・ハサミ等を使うような製作活動を行い、日常生活動作の向上を支援します。戸外への散歩やリズム遊びを通して、運動機能や感覚神経、運動神経を育てていきます。							
	認知・行動	パズル、塗り絵、シール遊び、積み木、ブロックなどを用いて指先課題にも取り組みながら、五感を刺激して感性を育てていきます。発達段階にあわせて、集団遊びや簡単なゲーム等を提供しながら認知機能の向上を促していきます。							
	言語コミュニケーション	様々な場面の中で、言葉の意味や使い方を支援しながら会話の練習をしていきます。子どもの発達段階に応じて子どもの気持ちを尊重しながら、周りの人とのコミュニケーションや気持ちのやりとりができるように支援していきます。							
	人間関係社会性	お友達と遊ぶ経験、おやつのマナー、順番を待つなどのルールを守る練習を通じて人間関係を学び社会性を育てていきます。大人との信頼関係を築き、信頼関係を基盤として周りの人との関係を広げて行けるよう支援します。							
家族支援	送迎時など日ごろご家族様とのコミュニケーションを通じて、一緒に支援を考えていきます。定期的な面談と必要に応じた面談を行い助言をします。				移行支援	就園、就学前の関係機関との情報共有や情報提供に努め、柔軟に移行できるよう支援します。			
地域支援・地域連携	保健センターや園、保護者様との定期的な連絡調整を行います。必要に応じて医療機関との情報共有を行います。関係機関や行政、地域支援機関と連携を行います。				職員の質の向上	支援会議、ケース検討を実施して、障害特性の理解や専門性を高めます。BCP研修、ジョブメドレー研修、HIG研修を定期的に行います。避難訓練の実施。			
主な行事等	冬のお楽しみ博 (クリスマスパーティー、お店屋さんごっこ等)、春のWelcome Week (色探しさんぽ、母の日父の日プレゼント制作等) 夏の大冒険 (夏祭り、ひんやり実験デー、プール遊び等)、秋のほっこりフェス (ハロウィンパーティー、制作等) 一つひとつの体験が、子どもたちの自信や心の成長につながるよう、その子のペースや気持ちを大切に、そっと寄り添いながら見守る支援を心がけています。								